

県立美術館の活性化についての検討計画

1 趣旨

生涯学習審議会(親会議)への「県立博物館・美術館の今後の在り方について」の諮問に対する、第一次答申、第二次答申の審議において、県立美術館については、十分な検討が行えなかったことから、県民満足度向上の観点から県立美術館の活性化に係わる検討を行い、第三次答申として取りまとめる。

2 検討の進め方

生涯学習審議会県立博物館・美術館部会(部会)において、美術を専門とする外部の協力員にも加わっていただき、県立美術館の活性化に関する集中的な検討を行う。その結果を基に親会議での審議を行い、第三次答申を取りまとめる。

県立博物館・美術館部会委員

- ・岡部 成行 千葉県PTA連絡協議会長
- ・久留島 浩 国立歴史民俗博物館特任教授
- ・福田 正明 千葉テレビ放送株式会社顧問
- ・二村 好美 匝瑳市教育委員会教育長(部会長)

協力員

- ・齊藤 泰嘉 筑波大学名誉教授
- ・永山 智子 佐倉市立美術館学芸員

(50音順敬称略)

3 県立博物館・美術館部会での検討(案)

(1) 部会の開催

令和2年7～10月に3回程度を予定(第2回以降の日程については事務局で調整)

(2) 検討内容

第1回 県立美術館の現状、過去の検討結果、他県の状況等を確認し、活性化に向けての課題を検討

第2回 県立美術館活性化に向けた中・長期的な施策案を検討

第3回 第1・2回での検討をもとに、県立美術館の活性化に関する素案の取りまとめ

4 生涯学習審議会での検討

令和2年10月以降の親会議において、部会で作成した素案をもとに審議

※ 審議会及び部会会場については、県立美術館も含めて検討する。